

3. 学生相談室活動報告

1) 個別相談状況

平成26年度の学生相談室の相談体制は、専任カウンセラー2名、非常勤カウンセラー1名（週2日5時間ずつ）、兼任カウンセラーは人文社会科学部の1名の心理学教員（週1日90分）であった。

平成26年度の実来談者は319名、のべ来談者数（相談回数）は2046名であった（25年度332名／1833名）。1人あたり平均6.4回の相談を重ねたことになる。1回の平均面接時間は約43.8分であった（専任カウンセラー分のみ）。

主要な相談統計を表1～9に示す。なお、別紙は相談内容の分類法を示したものであり、全国学生相談研究会の専任カウンセラーが中心になって作成した「学生相談の共通分類」（下山ら、1991）によっている。相談状況の概要は以下のとおりである。

●25年度と比べると、実来談者数はやや減少したが相談回数は増加した。25年度が1人あたり平均5.5回に対し6.4回になっている。これは相談内容の「心理性格」に含まれる、発達障害やそれを疑われる学生のサポートや、医療機関につながりにくく、つながっても中断してしまう学生の修学援助が増加し、長い期間面接を必要とするケースが多くなっていることが理由と考えられる。また、継続的な見守りが必要な不登校学生の再登校支援といった対応も増えている。

●学年別では4年生（留年生含）の相談の増加傾向が続き、全体の34.5%に上っている。これまでも問題がなかったわけではないが、4年生以上の高学年になってようやく相談につながる、というケースが多くみられる。主な相談内容は成績不振による留年、就学意欲の減退、卒業修了後の進路での迷い、研究室不適應である。

●教職員からの学生に関する相談や、教職員の勧めで来談する学生の増加傾向も続いている。教職員からののべ相談件数は25年度209件から244件、教職員の勧めで来談した学生数は、25年度17名から28名に増えている。また、同様に家族からの相談や家族の勧めで来談する学生の増加も顕著であり、家族からののべ相談件数は25年度が92件、26年度には158件になっている。教職員や家族との連携が必要な相談内容が増加していることを裏付けている。

●教職員の自分自身の問題での来談は20名で、25年度とほぼ同数であった。主な相談内容は、精神疾患と人間関係（ハラスメント含）である。

2) リラクゼーション・スペースの利用

簡易ベッド、ボディソニック・チェア、エアロバイク、椅子とテーブルを配置したリラクゼーション・スペースの26年度の利用者は175名であった。一般学生の他、学生相談室に来談し対人恐怖的傾向のある学生の一時的な休息場所としても利用されている。

3) 心理テストの利用

学生相談室では、就職や進路選択、自己分析の際の一つの資料として利用してもらうために希望する学生に対して心理テストを実施している。行っていたのは「YG性格検査」、「東大式エゴグラム」、「VIP職業興味検査」である。26年度は2名の受検者があった。

表1 性別来談者数

性別	来談者数	%
男	141	44.2
女	178	55.8
合 計	319	100.0

表2 学年別来談者数

学年	来談者数	%
1 年 生	31	9.7
2 年 生	42	13.2
3 年 生	67	21.0
4 年 生*	110	34.5
修士課程学生	38	11.9
博士課程学生	1	0.3
教 職 員**	20	6.3
そ の 他	10	3.1
不 明	0	0.0
合 計	319	100.0

*農学部獣医学科5, 6年生・留年生を含む

**教職員の学生の件での相談は含まない

表5 相談形態別のべ来談者数

形態	相談回数	%
面 接	1545	75.5
電 話	216	10.6
電 子 メ ー ル	263	12.9
そ の 他	22	1.1
合 計	2046	100.0

表7 相談内容別来談者数

相談内容	来談者数	%
心 理 性 格	194	60.8
対 人 関 係*	49	15.4
心 身 健 康	17	5.3
進 路 修 学	48	15.0
学 生 生 活	6	1.9
そ の 他	5	1.6
合 計	319	100.0

*ハラスメント相談を含む

来談者一人あたりの平均相談時間 43.8

表3 所属別来談者数

所属	来談者数	%
人文社会科学部	70	21.9
教 育 学 部	42	13.2
工 学 部	92	28.8
農 学 部	85	26.6
教 職 員	20	6.3
そ の 他	9	2.8
不 明	1	0.3
合 計	319	100.0

表4 来談経路別来談者数
(学生本人来談分のみ)

来談経路	来談者数	%
新入生向けパンフレット	11	4.0
ポスター・ウェブ	44	16.1
友人の勧め	13	4.7
センター診療室の勧め	43	15.7
教職員の勧め	28	10.2
家族の勧め	14	5.1
カウンセラーの講義	4	1.5
継続・再来・その他	109	39.8
不 明	8	2.9
合 計	274	100.0

表6 相談対象別のべ来談者数

対象	相談回数	%
本 人*	1612	78.8
教 職 員	244	11.9
家 族	158	7.7
友 人	0	0.0
そ の 他	32	1.6
合 計	2046	100.0

*学生および教職員本人

表8 相談内容別のべ来談者数

相談内容	相談回数	%
心 理 性 格	1418	69.3
対 人 関 係	157	7.7
心 身 健 康	280	13.7
進 路 修 学	167	8.2
学 生 生 活	15	0.7
そ の 他	9	0.4
合 計	2046	100.0